

目次

- 特集**
- ▶ 院長就任にあたって
 - ▶ 照射精度をより高く！新治療システムスタート
～陽子線がん治療センター～
 - ▶ 看護週間記念行事
- お知らせ**
- ▶ 病院ボランティア募集

院長就任にあたって

福井県立病院長 村北 和広

本年4月1日付けで福井県立病院の院長を拝命いたしました。私は福井で生まれ福井で育ちました。38豪雪の時は小学校6年生でした。また、5年後に2巡目の福井国体がやってきますが、前回の福井国体の時には高校2年生で開会式に参加しました。金沢で医学を学び、56豪雪の昭和56年5月に福井県立病院へ帰郷いたしました。早いものであれから30年が過ぎました。このたびの伝統ある福井県立病院院長就任は身に余る光栄です。安全かつ安心で最新の医療を提供し、お世話になった福井県民の皆様に恩返しが出来ればと思っています。

昨年4月がん医療センター外来棟を新設オープンいたしました。開放的で快適な化学療法室に医師・看護師・薬剤師等の専門スタッフが常駐し、いろんなご質問・ご要望にもその場で対応できご好評をいただいております。本年4月には入退院支援室が開設され入退院の説明案内が一か所で可能になりました。ホームページも今年中に新しく更新いたします。さらに簡単・便利にご覧いただけるようになりますのでご期待ください。陽子線がん治療センターでは第3の治療室が使用開始になりました。CTを同時に使用することでミリ単位の正確な照射が可能になり、「積層原体照射システム」という、複雑ながんの形にあわせて病巣だけに照射を行い副作用をさらに抑える治療法が可能になりました。また従来の放射線治療でも世界最新の放射線治療装置(リニアック)を更新整備いたします。本年度は病院横に建物の増築、平成27年完成、平成28年治療開始予定です。4月から「ふくいメディカルネット」の運用が始まっております。県立病院などの基幹病院と地域の医療機関をインターネットでむすび画像・検査結果・処方等の情報を共有するシステムで「かかりつけ医」との連携治療がより緊密に行えるようになりました。今年夏には若狭舞鶴自動車道が全線開通します。嶺南地方の皆様にも当院受診が便利になります。これからも、福井県民の皆様が安心して受診できる「こころ温まる病院」を目指し続けます。



福井県立病院理念・基本方針

理念

私たちは、総合的かつ高度な医療の提供を通じて、県民に信頼され、心あたたまる病院をめざします。

基本方針

1. 心身ともに全人的な医療を提供します。
2. 質の高い医療、特殊・先駆的医療を提供します。
3. 安全管理を徹底し、患者様本位の医療を提供します。
4. 救命救急医療の充実を図ります。
5. 地域医療機関との連携に努めます。
6. 個人情報の適切な管理を行います。
7. 健全な経営に努めます。



「コンパス」には、

「円を描く道具」「方角を示す磁石」の2つの意味があります。

この広報誌が皆様と当院の輪(和)を描くものとなり、また皆様にとって有用な情報を提供することで、今後の皆様の健康の道しるべとなるよう願いを込めて名づけられました。

照射精度をより高く！ 新治療システムスタート！ ～陽子線がん治療センター～

陽子線がん治療センターは、日本海側唯一の陽子線治療施設として平成23年3月にオープンして以来丸3年が経過しました。年々治療患者数は増えてきており、県内外を問わず治療開始してからこれまでに**480人**の方(26.5.22現在)に治療を行っております。

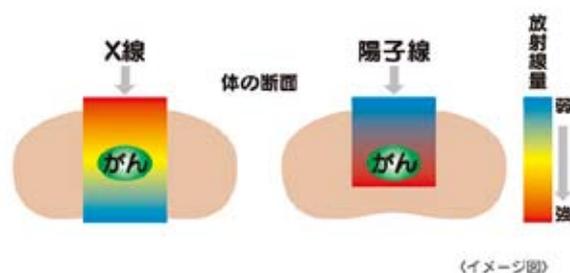
今年の3月からは、新しい治療室の運用を開始し、より多くの患者さんを迎えられるようになりました。

この治療室では、陽子線としては世界初の「積層原体照射システム」と日本初の「CT自動位置決めシステム」の2つの新しい治療システムを導入しており、従来に比べてより副作用が少なく、精度の高い治療を提供していきます。

陽子線治療とは？

陽子線治療は、放射線の一種の陽子線をがん病巣にピンポイントで集中照射する治療で、がん以外の正常な組織への影響を抑えることができるのが特長です。手術のように体を切ることがないので、体にかかる負担も少なく、高齢者にも優しい治療です。

一回の治療時間は、準備を含めても20～30分程度。このため、入院することなく、仕事や普段通りの生活をしながら通院での治療が可能です。



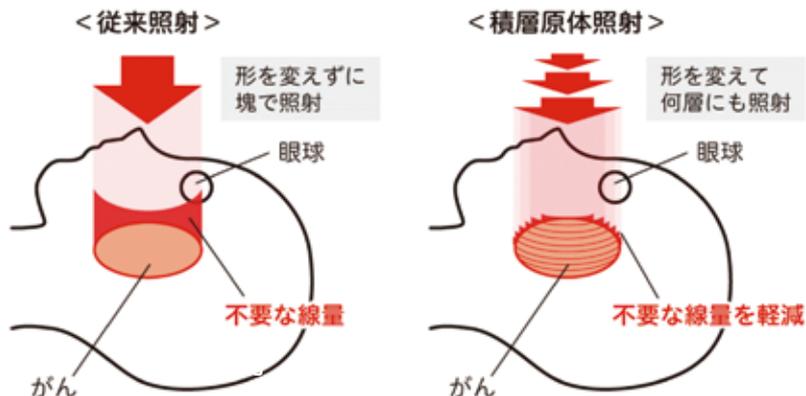
世界初！ 積層原体照射システム

がんの形にあわせて、陽子線をいくつもの層に分けて薄く積み重ねるように照射するシステムです。がんが複雑な形であっても、がん周辺の正常組織に余計な線量が当たるのを最小限に止め、副作用を抑えることができます。

このシステムでの治療は、特に放射線に弱い臓器が複雑に散在する頭頸部(鼻、顔面、のど等)のがんを中心にしています。

★従来の陽子線治療法と積層原体照射の違い

【頭頸部がんの場合】



日本初! CT自動位置決めシステム

従来は照射直前にX線撮影により骨の位置などを目安に照射する場所を決めていましたが、この方法ではCTを使って日々の患者さんの状態に適応したミリ単位の高精度な位置決めをするとともに、自動で計算・ベッド移動を行います。

このシステムでの治療は、直腸内のガスや膀胱の尿のたまり具合で前立腺の位置が影響される前立腺がんを中心にを行っています。



新システムを使った研究

陽子線がん治療センターでは、このような高度な技術で、より多くの種類のがんを効果的に治療できるように、研究を進めています。

今年度は、これまで固定が難しくがんの位置合わせが困難だった乳がんについて、新しいシステムを活用した臨床試験を行うことができるよう、現在準備中です。



詳しいことは

福井県 陽子線

検索

<http://info.pref.fukui.jp/imu/fph>

相談専用ダイヤル

0776-57-2981 8:30~17:00(土日祝祭日除く)

福井県立病院陽子線がん治療センター

TEL:0776-57-2980 FAX:0776-57-2988 E-mail youshisen@pref.fukui.lg.jp



看護週間行事

10時30分～

『思いやりは人のためならず』

講師 心理相談室アシスト代表
岡本 克己氏

11時30分～

フラダンス

MOE'aina フラダンス

13時30分～

ミニコンサート

曲目「オー・シャンゼリゼ」など
▶ボランティア「ステラヴォーチェ」
による歌のコンサート

9時30分～12時30分

お茶とお花の

おもてなしコーナー

人のためになる
ことを1つ行い
ましょう。



生け花を
楽しみました

茶道部のおもてなし



5月12日は看護の創設者であるナイチンゲール女史の生誕日です。この日を記念して、平成3年に「看護の日」が制定されました。看護部では、今年5月15日に「広げよう思いやりの『わ』癒そうあなたの心と身体」をテーマに看護週間行事を開催しました。



歌やダンスをみんなで一緒に



プロジェクトメンバー

病院ボランティア募集

当院では、病院案内や車いすでの送迎を行っていただくボランティアを募集しています。ボランティアの皆さんの活動により、県立病院は支えられています。あなたの力をお待ちしています！

問合せ先：県立病院ボランティアの会 ☎ 0776-54-5151(内線2062)

新聞やテレビで、県の情報をキャッチ!

- 新聞 「県からのお知らせ」(毎月1日、15日に掲載)
- テレビ番組 「おはようふくい730」(FBC/日曜)
- 〃 「ほっとふくい」(ftb/1・3土曜)
- 〃 「まちかど県政」(FBC、ftb/日曜)
- 広報誌 「県政広報ふくい」(年6回発行)

※ラジオやインターネットでも提供中。

お問い合わせ

県広報課

0776-20-0220



健康長寿の福井



発行 福井県立病院 情報発信力強化委員会

福井市四ツ井2丁目8番1号 TEL:0776-54-5151(内線2061)

ホームページもご覧ください



<http://info.pref.fukui.jp/imu/fph/>